



このまち思いエネルギー。

広島ガス

Thanks,

110th

広島ガスCSR報告書 2019

持続可能な社会をみつめて…



CONTENTS

発行にあたって	1
CSR活動に対する広島ガスグループの基本的な考え方	2
TOP MESSAGE	3
トピックス 1 広島ガスグループ 2030年ビジョンの策定	5
トピックス 2 西日本豪雨災害 復旧・ボランティア活動	5
トピックス 3 廿日市工場と廃棄物処理施設との熱融通事業	6
トピックス 4 家庭用燃料電池「エネファーム」の普及拡大	6
〈経営分野〉	
都市ガス事業フロー、供給区域と体制	7
都市ガスの安定供給への取り組み	9
お客さまの安心・安全に向けた取り組み	10
防災対策への取り組み	11
広島ガスグループの経営体制	13
中期経営計画	15
連結財務データ	17
〈環境分野〉	
環境保全活動の基本的な考え方	21
① お客さま先での環境負荷の低減	23
② 事業活動における環境負荷の低減	25
③ 地域環境保全への貢献	27
環境負荷低減フロー（2018年度実績）	28
環境目標および実績	29
環境会計	30
〈社会分野〉	
地域社会との関わり （芸術・文化振興、地域振興、スポーツ振興、教育支援）	31
情報発信・お客さま満足度向上の取り組み	34
求める人材像 「お客さま、地域社会、一緒に働く仲間から信頼される人材」	35
働きやすい職場環境をめざして	36
労働安全衛生の取り組み	37
CSR報告書2019によせて	38
広島ガスの概要	39
広島ガスグループの概要	40

1909年の創立以来、
炎が創る豊かで快適な暮らしを
ご提案しています。



ガス燈 広島県広島市「灯和の径」

広島ガスCSR報告書2019

発行にあたって

企業は従来から、社会に対して製品やサービスの提供という本来業務に加え、環境保全、社会貢献などのさまざまな社会的責任(CSR:Corporate Social Responsibility)を果たしてきました。近年は、CSRを一つの指標として企業を評価するなど、CSR活動の重要度は一層高まっています。

広島ガスでは、2000年度からこれらの活動内容を経営分野と環境分野の両面から開示することを目的に、報告書を発行してきました。その後、2003年度には社会的側面も報告対象とし、2005年度から、新たに表題を「CSR報告書」として「経営」、「環境」、「社会」の3分野で構成しています。

【報告対象】

【範囲】広島ガスおよびその関係会社からなる「広島ガスグループ」
【期間】2018年4月から2019年3月までの活動（一部、2019年度の実績を含む）。
本誌電子版および広島ガスグループ（主要子会社）の環境データをWebで公開しています。
(http://www.hiroshima-gas.co.jp/com/ir/library/library_05.html)

【参考ガイドライン】

○環境省「環境報告ガイドライン（2018年版）」

CSR活動に対する広島ガスグループの基本的な考え方

広島ガスグループは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念のもと、地域の皆さまにエネルギーを安定的、かつ安心して安全にお使いいただくという、社会的責任の高い事業を行っています。その事業遂行こそが、大きな「社会的責任」であるとともに、お客さま先での便利で快適な生活や、エネルギーミックスの推進、地域活性化に貢献したいと考えています。

今後も持続可能な社会の実現に向け、天然ガス・LPガスの「ガス体エネルギーの普及拡大」と「エネルギーの高度利用」を基軸とした事業展開を行うとともに、コーポレート・ガバナンスの充実、地域貢献活動などを通じ、お客さま・株主の皆さまをはじめとするすべてのステークホルダーから信頼され、選択され続ける企業グループをめざします。

経営理念体系

◎経営理念

地域社会から信頼される会社をめざす

◎企業スローガン

このまち **思い** エネルギー。

◎広島ガスグループ2030年ビジョン(ビジョンスローガン)

幸せにつながる感動発信

◎行動指針

広島ガスグループ行動宣言
広島ガスグループ社員行動指針

2030年ビジョンスローガンに込めた3つの思い

- 1 地域社会と共に発展する企業グループ
- 2 このまち思いエネルギー。
- 3 共感して頂ける感動を追求し発信

2030年ビジョン基本方針



2030年ビジョン基本戦略

—— チャレンジ 1 ——

総合エネルギー事業の拡大で、地域社会の元気を支えます。

—— チャレンジ 2 ——

環境貢献につながる事業展開と、次世代エネルギーの研究に取り組みます。

—— チャレンジ 3 ——

デジタル技術の活用で、社会や暮らしに生きる高付加価値を創造します。

—— チャレンジ 4 ——

人を育て、地域の力となるプロフェッショナル集団になります。

—— チャレンジ 5 ——

常に安心安全を課題に、「もっとできること」を追求・実現します。

—— チャレンジ 6 ——

地域の皆さまと共に「理想のまちづくり」をお手伝いします。

これからもエネルギーの安定的かつ安全な供給とともに、天然ガス普及拡大と社会貢献活動を的確・迅速に推進してまいります。

はじめに

広島ガスは、1909年の創業以来、地域に根差したエネルギー会社として、ガス体エネルギーの供給を通じて、地域の皆さまの豊かな暮らしを支えることで社会に貢献してまいりました。2019年10月に創立110周年という一つの節目を迎えるにあたり、これまで当社グループを支えてくださった皆さまに改めて感謝申し上げます。

広島ガスグループが果たすべき社会的責任とは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念に基づき、エネルギーの安定供給と保安の確保を柱とした事業活動を展開していくことと考えています。

CSR(企業の社会的責任)には「経営」、「環境」、「社会」の3つの側面があります。経営的側面では、エネルギーの安定的かつ安全な供給と外部環境の激しい変化に対応する経営計画の策定・実施を、環境的側面では、クリーンエネルギーである天然ガスの普及拡大などの事業活動を、社会的側面では、社会貢献活動および的確・迅速な情報発信を推進しています。

「広島ガスグループ2030年ビジョン」に込めた思い

当社グループは、2018年10月に新たな経営ビジョン「広島ガスグループ2030年ビジョン」を策定しました。

頻発する自然災害やガス小売全面自由化の開始など経営環境が急速に変化していく中で、広島ガスグループとしての将来のエネルギー事業の方向性について示したものであり、スローガンとして「幸せにつながる感動発信」を掲げています。このスローガンには、広島ガスグループの永続的な発展に向けた三つの思いが込められています。

1つ目は、「地域社会と共に発展する企業グループ」です。エネルギー事業者として、地域社会から支持されなければ事業は成り立ちません。今まで以上に、地域社会から支持されるために、広島ガスグループとして、より信頼される経営を推進してまいります。

2つ目は、企業スローガンでもある「このまち思いエネルギー。」です。「このまち」とは、広島に限定したのではなく、広島ガスグループとして、2030年ビジョンで描く、新たな事業エリアにおいても、「このまち」の定義は成立します。広島ガスグループが事業展開するエリアすべてを「このまち」と定義し、事業展開を図ってまいります。

3つ目は、「共感して頂ける感動を追求し発信」することです。共感する、好感が持てる、だから継続して使いたい、買いたい、利用したいといった思いを抱いていただける好循環につながる感動を追求し、それを発信、具現化していきます。お客さまニーズが多様化していく中で、各企業間におけるサービス競争はますます激しさを増しています。サービスを提供することは、特別なことでない時代に、広島ガスグループとして、あらゆる経営施策において、お客さまの想像を超え、「さすが広島ガスグループだね」と感じていただける、すなわち、「共感して頂ける感動」を追求し、発信していくことで、広島ガスグループのファン拡大へつなげていきます。

環境にやさしく快適な暮らしを

広島ガスグループでは、「環境負荷の低い天然ガスをはじめとするガス体エネルギーの一層の普及拡大」と「高効率機器の拡販やスマートコミュニティ事業への参画をはじめとしたエネルギーの高度利用」を基軸とした事業活動を推進していくことで、地球環境に貢献してまいります。

業務用市場においては、CO₂の排出が少なく、環境にやさしい天然ガスを選んでいただけるように省エネ提案等、種々の提案活動を行っております。今後も引き続き、分散型熱電併給システムであるガスコージェネレーションシステム、夏場の電力ピークカットができるガス空調などの普及促進を通じて、省エネルギーや省CO₂に加え、エネルギーセキュリティの向上やピーク時における電力負荷の削減に寄与してまいります。

家庭用市場においては、省エネ性・環境性に優れた家庭用燃料電池「エネファーム」の一層の普及拡大を図ってまいります。2019年4月からは中国地方の都市ガス事業者では初となる家庭用燃料電池の余剰電力買取サービスを開始しており、発電した電気を社会全体で活用いただくことができます。今後も省エネルギーで環境にやさしいエネルギーシステムの普及促進に取り組むとともに、サービスの向上に努め、お客さまの快適な暮らしの実現とエネルギーの高度利用に貢献してまいります。

海田地区でのバイオマス混焼発電事業については、2021年3月の運転開始をめざして建設工事を安全かつ着実に進めていきます。本事業を通じて、再生可能エネルギーの普及拡大やCO₂の削減に貢献するとともに、広島県内の未利用木材を積極的に活用することで、エネルギーの地産地消を行い、地域経済の活性化に寄与してまいります。

安定供給と保安の確保

大きな変化の過渡期にある中でも私たち地域のエネルギー供給を担う事業者には課せられた、「保安の維持・向上と安定供給の確保」という使命は決して変わることはありません。

製造インフラにおいては、2016年2月からは大型の標準LNG船による原料の受け入れを開始し、今後もスケールメリットを活かした原料輸送コストの低減を図るとともに、原料の調達先についても多様化を進めてまいります。加えて、当社初の海外拠点となるシンガポール事務所においては、エネルギー関連市場や当社が所有するLNG船の有効活用に向けた情報収集を行っています。引き続き、LNGの安定的な供給の継続に加えて、より安価な天然ガスをお客さまにお届けできるように努めてまいります。

供給インフラにおいても、天然ガスの普及拡大と供給安定性の向上を図るとともに、ガス販売量の増大に対応するため、高圧幹線である広島湾岸幹線新設工事や、東広島市等におけるパイプライン延伸工事を行っています。

保安の確保においては、ハード面では、耐震性の高いガス管であるポリエチレン(PE)管への取り替え、ガスの遮断と復旧を効率的かつ効果的に行うための導管網の小ブロック化の推進を図り、ソフト面では、人材育成の充実、緊急措置訓練、技能競技大会などを通じて、現場力の強化を推進しています。

災害対策についても、2017年に完成した防災センタービルを発災時の対応拠点とし、緊急対策・復旧対策の迅速化を図ってまいります。

さらなるインフラ整備や現場力の向上を通じて、ハード、ソフト両面からより一層の保安に対する取り組みの強化を進め、お客さまの安心・安全の確保に努めてまいります。

「このまち思い」な企業として

地域に根差した広島ガスグループが、持続的に発展していくためには、地域の活性化が不可欠であると認識しております。エネルギー供給の着実な遂行に加え、お客さまや地域の皆さまとのつながりやふれあいを大切にし、地域の芸術文化、教育、スポーツ、環境分野などにおける社会貢献活動、情報発信に取り組んでまいります。2030年ビジョンで示した「ひと思い活動」、「くらし思い活動」、「環境思い活動」といった三つの新たな活動



代表取締役社長 社長執行役員

松藤 研介

の枠組みに基づく社会貢献活動を通じて、地域の活性化・発展の一助を担っていきたく考えています。

社内においても、コンプライアンス意識の徹底、リスクマネジメントの強化、広島ガスグループ会社間の人材交流の実施や風通しの良い職場環境の構築による公正かつ透明性の高い事業運営に努めてまいります。併せて、社員全員が、「広島ガスグループの社員であることに「自信と誇り」を持てる会社」をめざし、個々の「人間力」を高めてまいります。

広島ガスグループでは、引き続き役員一丸となって、業務に精励し、「地域の好感度NO.1企業グループ」として、すべてのステークホルダーの皆さまから信頼され、選ばれ続ける企業グループをめざしてまいります。

皆さまには、本報告書をご一読いただき、広島ガスグループの取り組みをご理解いただくとともに、忌憚のないご意見・ご感想をお聞かせいただければ幸いです。

2019年7月

トピックス 1 広島ガスグループ 2030年ビジョンの策定

広島ガスグループは、2030年に向けた新たな「広島ガスグループのあるべき姿」を描いた経営ビジョン『2030年ビジョン』を策定いたしました。経営理念である、「地域社会から信頼される会社をめざす」を念頭に、スローガンに込めた3つの思いを胸に刻み、すべてのステークホルダーの皆さまの「笑顔」と「幸せ」につながる未来を創造していくための事業経営を推進してまいります。

1 広島ガスグループ 2030年ビジョンスローガン

幸せにつながる感動発信

《スローガンに込めた3つの思い》

- (1) 地域社会と共に発展する企業グループ
- (2) このまち思いエネルギー。
- (3) 共感して頂ける感動を追求し発信



2 2030年ビジョン基本方針

基本方針 1 経営施策を通じた感動追求

- ◎経営理念に基づいた事業活動の展開
- ◎企業の社会的責任(CSR)

基本方針 2 エネルギーサービスを通じた感動追求

- ◎お客さまニーズの多様化によるサービス競争への対応
- ◎エネルギーサービスの追求

基本方針 3 安心を通じた感動追求

- ◎地域社会の皆さまが日頃から安心して生活頂ける環境整備
- ◎提供するエネルギーやサービスに対しての安心

基本方針 4 人とのつながりを通じた感動追求

- ◎広島ガスグループの強みを生かした事業展開
- ◎人材育成と従業員価値の向上

3 2030年度経営目標

「広島ガスグループは、連結経常利益70億円規模の企業グループに成長する。」 ※2017年度実績(約35億円)の2倍程度。

トピックス 2 西日本豪雨災害 復旧・ボランティア活動

2018年7月5日、6日の豪雨により、中国・四国地方を中心とした広い範囲で土砂崩れや河川の氾濫が発生し、各地で甚大な被害が相次ぎました。当社製造・供給設備に、お客さまへのガス供給に大きく影響する被害はありませんでした。

災害地区のガス工事では、土砂崩れにより車道に流れ込んだ土砂の撤去作業も行い、交通の開放に尽力しました。また、被災地復旧にむけて、計169名の役職員がボランティア休暇制度などを活用して、ボランティア活動に参加しました。



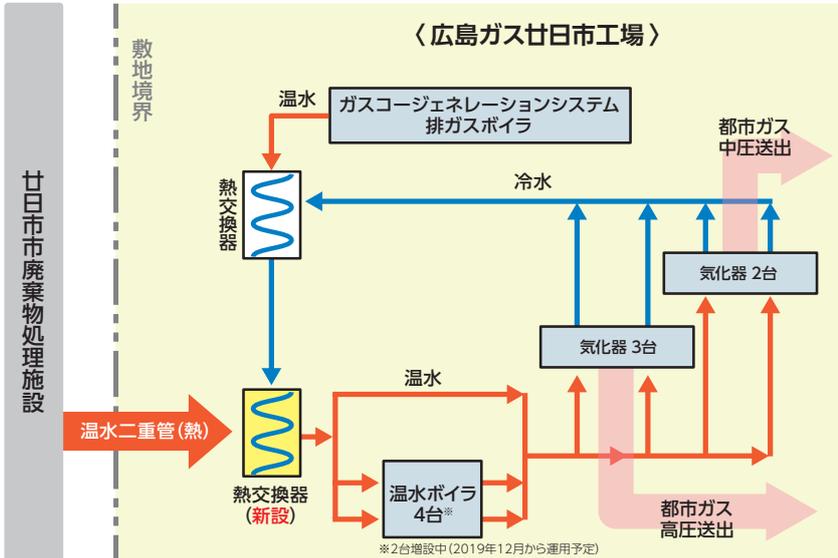
土砂の撤去作業



ボランティア活動

トピックス 3 廿日市工場と廃棄物処理施設との熱融通事業

2019年4月から、廿日市工場の西側隣地に新たに建設された廿日市市廃棄物処理施設(はつかいちエネルギーグリーンセンター)から廿日市工場への熱供給を開始しました。隣地からの未利用熱を供給してもらうことで、LNG気化器の熱源発生設備である温水ボイラの稼働を減らすことができ、省エネ法(エネルギーの使用の合理化等に関する法律)における成績向上につながります。近隣事業所同士で熱を融通することによって、地域での環境負荷低減に貢献しています。



廿日市工場熱交換器



温水二重管設置工事

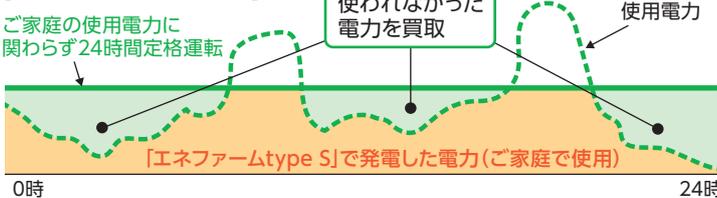
トピックス 4 家庭用燃料電池「エネファーム」の普及拡大

エネファームの普及拡大を通じて、環境にやさしい天然ガスのさらなる高効率利用に努めてまいります。

発電余剰電力の買取

2019年4月から広島ガスでは、「エネファームtype S」の発電余剰電力の買取を小売電気事業者である三井物産㈱と共同で開始しました。

【余剰電力を買取する場合】



使用電力に関わらず、24時間定格運転(700W)を行います。使用電力が少ない時間帯は、発電した電力がご家庭の使用電力を上回ります。発電した電力のうち、ご家庭で使われなかった電力は、広島ガスが買い取ります。

エネファームの種類

2016年4月から、「エネファームtype S」の販売を本格化しました。バリエーションが増えたことにより、さらに多くのお客さまにお使いいただけるようになっています。

【「エネファームtype S」と「エネファーム」の比較】

	エネファーム type S	エネファーム
作動温度	約700℃~750℃	約60℃~80℃
電池の種類	固体酸化物形(SOFC)	固体高分子形(PEFC)
電解質	セラミックス	高分子膜
発電効率	46.9% (52.0%)*	36.1% (40.0%)*
備考	電気の使用量の割合が多い お客さま向け	お湯の使用量の割合が多い お客さま向け

※()内の数値は、LHV(低位発熱量)基準です。

エネファームの補助金(2019年度)

国	補助金(定額)		追加補助額
	基準価格以下	基準価格を上回り 裾切価格以下	
地方自治体	固体高分子形(PEFC)	8万円	+3万円
	固体酸化物形(SOFC)	4万円	

※追加補助は、裾切価格以下の価格で販売された機器のみ対象。

募集期間:2019年4月8日~2020年2月21日

*詳細は(一社)燃料電池普及促進協会(FCA)のホームページをご参照ください。

▶▶▶ エネファームとは

エネファームは、天然ガスなどから取り出した水素と空気中の酸素の化学反応で発電し、その際発生する熱を利用してお湯をつくります。従来型給湯器によるシステムと比べて、CO₂排出量を標準家庭で年間約1.2t~1.5t抑えるエネルギー効率の高い最先端の発電・給湯暖房システムです。2009年の販売開始以来、新築住宅・既存住宅のお客さまに導入いただいた結果、累計販売台数は2,269台(2019年3月31日現在)となりました。今後も一層エネファームの普及拡大に取り組み、お客さまの快適な暮らしと省エネ・省CO₂に貢献していきます。

地方自治体

	補助金額	募集期間
広島市	3万円/台 × 350台	2019年4月15日~2020年1月31日
呉市	5万円/台 × 30台	2019年4月 8日~2020年2月21日
三原市	7万円/台 × 20台	2019年4月 8日~2020年2月21日
東広島市	15万円/台 × 20台 *HEMS(ホームエネルギー マネジメントシステム)設置必須	2019年5月 7日~2020年2月28日
廿日市市	7万円以内(総額300万円)	2019年4月15日~2020年1月31日

*詳細は各市のホームページをご参照ください。

*補助台数、予算総額に達した場合は、募集締め切りとなります。